

令和5年度 小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 みどりの風	代表者	小島 健一	法人・ 事業所 の特徴	住み慣れた地域でご利用者がいつまでも生活ができるように、通い・泊り・ 訪問を柔軟に組み合わせ支援しています。 「日和」の周辺には田んぼや畑が多く直売所も近くにありご利用者と職員が 一緒に利用するなど、地域の方とのつながりが持てるようにしています。
事業所名	小規模多機能型居宅介護 日和 (緑区)	管理者	代永 美菜		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	1人	1人	1人	人	1人	人	3人	人	7人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の 確認	・日常の業務内で事業所自己評価の進捗状況等ミーティングを週1回以上行う。	・前期は事業所自己評価の進捗状況等ミーティングを行っていたが、すぐに実施できないところもあり途中で頻度を減らした。スタッフの意識は高まったと思う。	・スタッフ間でミーティングがなされ、意見交換している様子が見える。	・毎月会議で事業所自己評価の振り返りを実施する。
B. 事業所の しつらえ・環境	・防犯対策と事業所へ入りやすい環境を兼ね備えた環境を作る。	・防犯対策として日中夜間共に鍵をかけ夜間は警備もかけているため、入りにくい環境にならないように、地域の方へ積極的に挨拶をすることで、地域の方から声をかけてもらうことが増えた。	・インターフォンを押すことは勇気がいることなので、椅子を置いてみたり、利用者が外でお茶を飲んでいるところに一緒に地域の方に参加してもらうなどしてはどうか。	・できる範囲で通いの利用者と職員とで、外でお茶を飲むなどして、地域の方が声をかけやすい環境を作る。
C. 事業所と地域の かかわり	・地域行事に参加するだけでなく、準備の段階から関わり関係性を作る。	・準備の期間に関わることが出来ず、地域行事に参加させてもらっていた。	・月1回のサロンには、ご利用者が参加できなくても職員だけ参加することも可能なので、参加してみてもどうか。	・防災訓練や炊き出しなど事業所で行い、地域の方にも参加していただく。
D. 地域に出向いて 本人の暮らしを 支える取組み	・地域のサロンに参加して地域の方と気軽に話をできる関係性を作る。	・サロンには限定的だったが参加させてもらった。積極的に今後も参加していき関係性を気づく必要がある。	・地域で気になる高齢者等へ声をかけたりしている様子なので、今後も声をかけて必要があれば介護事業所につなげられたら良いと思う。	・近所を散歩されている高齢者等へ声をかけて、必要があれば地域包括支援センターなど関係機関へつなげる。
E. 運営推進会議を 活かした取組み	・運営推進会議で得た情報や意見は職員間でも共有し改善活用につなげていく。	・地域の心配な方等の情報を共有することができた。 ・日和での事故報告について改善的な意見をいただき、活用できた。	・地域の情報を運営推進会議で発信するので、事業所で参加できる行事などあれば、ご利用者と一緒に今後も参加してほしい。	・地域での活動や困りごとなど日頃から情報収集して、運営推進会議で情報提供したり、情報収集して日和の活動範囲を広げる。

			い。	
F. 事業所の 防災・災害対策	<ul style="list-style-type: none"> 職員全員が防災訓練に参加して一人一人が行動できる体制にする。 	<ul style="list-style-type: none"> 防災訓練を行ったが、全員が各自災害にあった時に対応できる状態でないため、次年度は BCP も含め確実に対応できる準備をしていく。 	<ul style="list-style-type: none"> 防災訓練など運営推進会議と一緒に実施してみてはどうか 	<ul style="list-style-type: none"> 防災訓練や炊き出しなど事業所で行い、地域の方にも参加していただく。